

## 健康だより

## <歯周病>

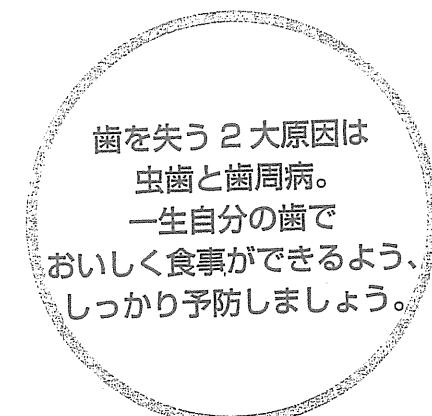
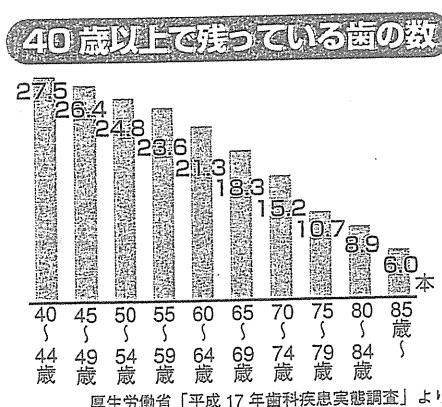
### <歯周病は生活習慣病>

歯周病とは、歯肉炎、歯周炎を総称する歯肉(ハグキ)の病気で細菌感染症です。

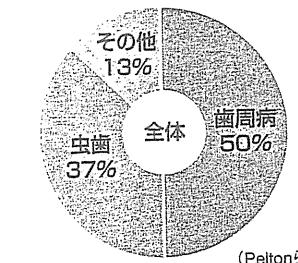
口の中には、300種類以上の細菌が存在するといわれ、その中で歯周病の原因となる数種類の細菌を「歯周病菌」といいます。歯とハグキの間に歯垢(細菌のかたまり)がたまると、ハグキに炎症が起きます。

そのまま放置すると炎症が進み、やがて歯を支える組織まで破壊して歯が抜けてしまいます。

40歳以上の人人が歯を失う原因の大半を占めています。歯を失うのは老化が原因ではなく、若い頃からの歯磨きや食生活の影響によりゆっくりと進行する生活習慣病です。



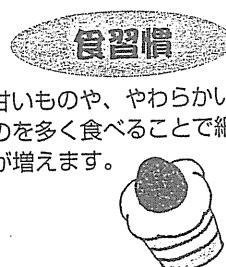
### 歯を失う原因



### 「歯周病にかかりやすい生活習慣」



甘いものや、やわらかいものを多く食べることで細菌が増えます。



### \* たばこをやめよう

たばこに含まれる有害物質は、肺の中の免疫細胞に悪影響を与えるほか、ハグキの血行を悪くして免疫力を低下させ、歯周病の活動をサポートします。たばこをたくさん吸うほど、歯周病が悪化し、治療をしても治りにくいことが分かっています。

### 「噛むことの8大効用 『歯がい』」

ひ

肥満予防  
よく噛むと満腹感  
で、食べすぎない。

み

味覚が発達  
よく噛んで多くの  
食べ物を食べれば  
味覚が発達。

こ

言葉の発音  
がはつきり  
口の周りの筋肉が  
発達して発音がよ  
くなる。

の

脳の発達  
噛む刺激で、  
脳の働きが  
活発に。

は

歯の病気  
の予防  
噛むと唾液  
が出て、歯  
を守る。

が

がん予防  
唾液が発がん性物  
質の毒性を抑える。

いー

胃腸快調  
噛むと消化酵素が  
たくさん出て、消  
化を促進。

ぜ

全身の体力  
向上  
よく噛むと、体に  
力が入り、体力も  
活性化。

(学校食事研究会)

### <歯の健康を守る生活習慣>

- 歯磨きは、毎食後+寝る前  
食べたら歯磨きを
- 食後の歯磨きは3分以内がポイント  
細菌の活動を抑える
- \* うがいだけで効果あり  
外出中や勤務中、時間がないときはうがいを

### <よく噛んで健康を手に入れよう>

歯を1本失うと噛む力は半分になる  
義歯を入れても、4分の1にパワーダウン  
歯の少ない人は、老化が早くなる

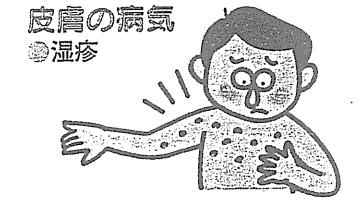
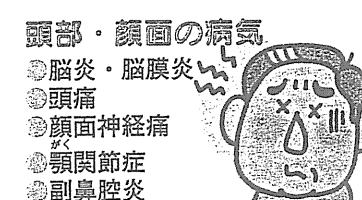
歯は一生のパートナーです。失った歯は二度と生えてきません。

生活習慣の改善はメタボリックシンドロームの予防・改善にも効果的、免疫力もアップします。

定期的な口内チェックで、健康を守りましょう

### <歯が全身の病気を引き起こす>

歯の病気は、歯の被害だけではすまされず、体全体のさまざまな病気を引き起こしたり、生活習慣病を悪化させます。口は「最初の消化器官」と呼ばれるように、物を噛み、唾液とともに体内に送り込む働きをしていますが、口の中に細菌が増えてくると、粘膜や血液を通じて全身を回り、腎臓、心臓、肺などに炎症を起こします。



### 逆に、こんな病気が歯を悪くする

代表的なのが糖尿病です。糖尿病になると血液中にブドウ糖が増加するため、虫歯や歯周病になりやすくなります。また、糖尿病は唾液の分泌も抑えます。唾液には殺菌作用や歯垢を洗い流す作用があり、分泌が減ることで歯の疾患を起こしやすくなるのです。また、ストレスや疲労、胃腸障害、喫煙などによって免疫力が低下した場合にも歯の疾患が起こりやすくなります。女性の場合は、思春期や妊娠中、月経などで女性ホルモンの濃度が上がる時期に、歯の疾患が進みやすいといわれています。

